

## 東京大学とNHKエデュケーショナル「キッズワンダーランド」が 幼児のデジタルコンテンツ開発のための共同研究をスタート

<http://www.n-kids.jp/>

国立大学法人東京大学大学院情報学環/総合文化研究科『開一夫（ひらきかずお）研究室』（以下、東大・開研究室）と「キッズワンダーランド」（企画・運営 株式会社NHKエデュケーショナル）は、小さなお子様楽しんでいただくためのデジタル環境に関する調査と安心・安全なデジタルコンテンツ開発を行うため、キッズワンダーランドに登録する0～5歳児の子どもとその親、7万人を対象にした共同研究（kids プロジェクト）を10月23日（金）からスタートさせました。

現在、子どもたちは、生まれた時からパソコンや携帯電話、テレビゲームなど無数のデジタル情報機器と接しており、それらはインターネットを通じて世界と繋がっています。今の時代に生まれた子どもたちはまさに『デジタルネイティブ』と言ってよいでしょう。ところが、子どもを取りまくデジタルメディア環境に関する科学的研究は進んでいるとは言えません。こうした中、乳幼児の発達を科学的に研究する「東大・開研究室」と、すでに幼児とその親が利用しているWEBサイト「キッズワンダーランド」では、利用者への実態調査やアンケートをもとに、幼児に向けたインターネットのよりよい環境づくりの指針を提供していくことを目的にした共同研究をおこなうこととしました。

具体的には、共同研究第1弾として、「幼児の発達において、ことばとモノの対応関係をどのようにとらえているのか？」を知ることをねらいとした幼児でも楽しめる簡単なゲームを作成し、11月2日（月）から公開しています。ゲームを使うことで、多くの幼児に調査に参加していただく画期的な試みとなります。また、幼児を対象とした調査としては、最大規模の調査となります。

### 《研究内容》

第1弾の共同研究「なかまさがしゲーム」 11月2日（月）より公開中  
あるかたちを「ネケ」と名付け、その物体のお友達を探すゲームです。大人とは違い、幼児がどのように「ことばとモノの対応関係を捉えているか」をこのゲームを使い、データを集めていきます。ゲームを楽しんでいただいたお子様のデータを東京大学大学院情報学環/総合文化研究科の開一夫准教授、開研究室の旦直子研究員、修士課程 菊川道一氏が解析を行い、結果を随時公表していく予定です。



< 開一夫（ひらきかずお）先生プロフィール >

東京大学大学院 情報学環/総合文化研究科広域システム科学系 准教授。  
慶応義塾大学大学院理工学研究科博士課程修了、博士（工学）。  
専門は、赤ちゃん学、発達認知神経科学、機械学習。著書に「日曜ピアジェ - 赤ちゃん学のすすめ」（岩波書店、2006）。監修ソフトに「すくすく子育てDS 赤ちゃんと遊ぼう！」（マーベラスエンターテイメント、2008）。キッズワンダーランドでは、ドクターヒラキとして登場します。



< 東京大学大学院情報学環/総合文化研究科 開（ひらき）研究室 >

人間の認知・学習・コミュニケーションの「仕組み」を明らかにするため、乳児から成人まで幅広い年齢層を対象とした調査・研究を行っている。現在、進行中のプロジェクトとして「母子間コミュニケーション」、「社会的認知の脳内メカニズムと発達」、「人工物やメディアの人間への影響」などがあります。

< キッズワンダーランド・サイトの説明 >

「キッズワンダーランド」は、0歳児～5歳児の子どもとその親を対象にした、はじめてのインターネット体験を応援することを目的としたサイトです。ユーザーは無料の会員登録をすると、仮想の島「キッズワンダーランド」でゲームをしながらパソコン操作の「クリック&ドラッグ」を学ぶことができます。パソコン操作がはじめての小さいお子様でも楽しめるように作ってあります。他にも、動画を見ることができたり、サイトにアクセスするともらえるポイントで「キャラクターの塗り絵」を購入できたりするなど、ゲーム以外にも、楽しいしかけがいっぱいです。

お問合せ先（東京大学）:

東京大学大学院情報学環/総合文化研究科  
准教授 開 一夫

（株）NHKエデュケーショナル：平成元年設立以来、NHKの教育テレビを中心に「こども幼児」「教育・教養」「趣味・生活」の専門分野で番組制作・テキストやDVD・イベント等を企画・制作。

本件担当：NHKエデュケーショナルこども幼児部

WEBでのお問い合わせ：キッズワンダーランド「お問い合わせ」

<https://www.nkids.jp/contact/index.php>